

農問研ニュース 第7号

2007年11月30日

◆本号の内容

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 2007年度秋季大会開催報告 | 4. 学会賞推薦期間の延長について |
| 2. 2007年度第2回幹事会議事要旨 | 5. 2008年度春季大会の概要について |
| 3. 2007年度臨時総会議事要旨 | |

1. 2007年度秋季大会開催報告

2007年11月3日に東京大学農学部において2007年度秋季大会が開催されました。大会の内容は個別報告およびミニシンポジウムでした。93名の参加者にご来場いただき、盛会のうちに閉会致しました。

◇午前の部

- 5名の報告者による個別報告

◇午後の部

- ミニシンポジウム

[テーマ] 農業構造問題の現段階と展望—2005年センサス分析—

[座長] 小田切徳美 (明治大学)

第1報告 労働力の変化と農業就業構造 澤田 守 (農業・食品産業技術総合研究機構)

第2報告 農地利用の変化と担い手の実態 細山隆夫 (北海道農業研究センター)

コメンテーターから

センサス体系の変化に関して 吉村秀清 (中央畜産会(元農林統計協会))

農山村地域調査結果より 橋口卓也 (明治大学)

2. 2007年度第2回幹事会議事要旨

(1) 2008年度春季大会の企画について (春大会企画担当・加瀬)

- ・2008年度春季大会の日程は、諸般の事情から農業経済学会開催翌日の2008年3月29日(土)とすることが提起され、了承。
- ・大会テーマは「現代の上層農の多様な展開形態と存立条件」を原案とすることで了承。

(2) 学会賞関連について (学会賞選考委員長・平野)

- 学会賞の推薦状況について
- ・11月末日の締め切りに向けて、会員各位に掘り起こしをお願いします。
- 学会賞表彰規程・同細則の改正
- ・学会賞表彰規程と同細則の改正については了承。

(3) 会員拡大に向けた取組み (会員拡大担当・加瀬)

- ・現在の会員数は296名であり、ホームページからの入会も見られるようになったものの、会員数が純減している状況にあり、会員拡大に向けた取組みを引き続き推進していくことが必要。

- ・ 秋季大会については、農業関連メディアにプレスリリースを行ったものの、発信時期が直前であったため掲載には至っておらず、今後は早めのリリースを行う必要。

(4) 学会創立 50 周年記念出版事業の進捗状況について（記念出版編集委員会事務局・楨平）

- ・ 平成 19 年度中の4巻同時発刊に向け編集作業を鋭意進めているが、原稿提出が遅れている巻もあり、記念出版編集委員会事務局および各巻代表者で対応を協議するとの報告を受け、概ね了承。
- ・ 会員向けのセット割引販売の案内は、後日、学会事務局より行う。

(5) 編集委員会報告（編集委員長・小林）

- 会誌編集の進捗状況について
 - ・ 進捗状況については経過を報告。
- 会誌発行部数の変更等について
 - ・ 発行部数について、在庫不足から 61 号より従来の 330 部から 350 部に変更し、57～59 号についても各 50 部を増刷するとの報告を受け、了承。
- 投稿・執筆要領の改正について
 - ・ 投稿・執筆要領の改正については了承。
- 査読結果報告書の改訂について
 - ・ 査読結果報告書の改訂については了承。

(6) 事務局報告

- 学生会費の据え置きについて(事務局補佐・金子)
 - ・ 2007 年 3 月に開催された 2007 年度総会において会費値上げが承認されていたが、学生会費の負担は本来可能な限り抑制することが望ましく、またそれが予算上可能となったため、学生会費の据え置きについて、10 月の秋季大会時の 2007 年度臨時総会で提起することが幹事会で承認された。
 - ・ 1,000 円の値上げを抑制することで学生会員が増えるのかとの質問があったが、2007 年度総会で他学会と比較して高いという意見も出されており、学生会員の減少防止という今回の措置の目的が事務局より説明され、了承。
- 補正予算について(事務局・久保田)
 - ・ 編集委員会から報告された会誌バックナンバー増刷経費の 2007 年度補正予算計上について、11 月の臨時総会で提起することが承認された。

(7) 国際アジア共同体学会「農が拓く東アジア共同体」シンポジウム共催依頼について（代表幹事・加瀬）

- ・ 共催依頼を検討するに際し、国際アジア共同体学会に詳細な説明ないし資料提供を求めたものの、必ずしも十分な説明がなされなかったことに加え、検討時間も限られていたため、今回は共催を見送ることとした旨が報告された。

(8) ホームページ管理体制の変更について（庶務幹事・鈴木）

- ・ これまで立ち上げから更新等の業務を庶務幹事が行ってきたが、ほぼ構成が固まったため、事務局での管理に移行した。

(9) 常任幹事の人事について（庶務幹事・鈴木）

- ・ 現庶務幹事(鈴木)の職場異動(農林水産省経営局併任)に伴い、庶務業務の円滑な遂行が困難となることが予想されるため、常任幹事を臨時に 1 名増員し(岡司直也氏・法政大学)、庶務幹事の後任を岡司氏とする。また、鈴木氏は 2007 年度末までは庶務幹事補佐とすることが報告され、承認された。

3. 2007 年度臨時総会議事要旨

(1) 決議事項

- 学生会費の据え置きについて賛成多数により可決された。

(2) 承認事項

- 学会賞表彰規程・同細則の改正について承認された。
 - ・ 改正後の表彰規程・同細則につきましては、後日、学会ホームページに掲載致します。
- 補正予算について承認された。
 - ・ バックナンバーの増刷が必要になった経緯について質問があったが、不足分を常任幹事の手持ち分から拠出している現状に加え、会員外からのバックナンバーの問い合わせや、会誌を送付停止している会費未納者への将来的な送付再開を見込むと、早急な増刷対応が不可欠だったと説明が事務局からあった。

(3) 報告事項

- 投稿・執筆要領の改正について報告があった。
 - ・ 改正後の投稿・執筆要領につきましては、学会ホームページをご覧ください。
- 常任幹事の人事について報告があった。

4. 学会賞推薦期間の延長について

今年度の学会賞選考対象の推薦につきましては、推薦数を増やすために、期間を2007年12月25日(火)まで延長致します。引き続き、会員の皆様からの多くのご推薦をお待ちしております。なお、学会賞推薦募集の詳細ならびに「推薦書様式」につきましては、学会ホームページに掲載しておりますので、併せてご覧ください。

5. 2008 年度春季大会の概要について

2008 年度春季大会の概要が下記の通り決まりましたので、お知らせ致します。なお、例年は農業経済学会の前日に開催しておりますが、今年は諸般の事情により、農業経済学会開催の翌日に開催することになりましたので、ご注意ください。大会案内等は追ってご連絡致します。多数の会員のご参加をお待ち申し上げます。

日時：2008年3月29日(土)10:00～17:00

場所：宇都宮大学農学部(栃木県宇都宮市峰町350)

シンポジウムテーマ：「現代の上層農の多様な展開形態と存立条件」(仮題)

農業問題研究会「農問研ニュース」第7号 2007年11月発行

[連絡先] 農業問題研究会事務局

〒114-0024 東京都北区西ヶ原1-26-3 財団法人農政調査委員会内(担当：久保田)

TEL:03-3910-7223 FAX:03-3910-7267 E-mail: jimukyoku@noumonken.sakura.ne.jp

学会ホームページ：<http://wwwsoc.nii.ac.jp/nomonken/>